

20 与建第 472 号

平成 20 年 10 月 20 日

国土交通省道路局長 様

与謝野町長 太 田 貴 美



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成 20 年 9 月 19 日付け、国道企第 37 号で依頼のあった上記のことについて別添のとおり回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式①

京都府 与謝野町

改善すべき点

道路関係業務の執行に関する支出に対して数々の間断点が指摘されました。

公益法人については、ほとんどの業務の発注が随意契約となっており、競争性が損なわれている点の指摘がありました。

また、組織形態についても行政と密接な関わりのある公益法人については見直す必要があると思います。

地方整備局についても、車両管理業務においてより競争性の高い一般競争入札への移行が求められています。

要望・提案

地方道路の整備における費用対効果について

道路整備を行う場合の考え方として、費用対効果が必須の条件ではありますが、地方では急速な高齢化や過疎化等が各地域共通の課題であり、そのような地域の道路整備を行う場合には費用対効果だけでは計れないものがあると思いますので、何卒その点についてご配慮がいただきたいと思います。

今後の道路行政についての意見・提案

②—1地域の現状と抱える課題

様式②

京都府 与謝野町

○現状

京都府北部に位置する本町にとっては、京都縦貫自動車道の全線開通は地域格差を是正するためには必要不可欠である。

また、鳥取豊岡宮津自動車道については、京丹後市大宮までの間が事業化の運びとなったものの、その先については見通しが立っていない状況である。さらに、地域の利便性を確保する府道の整備は全般的に立ち遅れている状況である。

○課題

地域の基幹交通体系である道路の整備促進は「ひと・もの・情報」が円滑に行き交う上で必須の社会基盤として、当地域が将来にわたっては発展していく最重要課題である。

今後の道路行政についての意見・提案
②-2地域の目指すべき将来像

様式③

京都府 与謝野町

国道も整備され、近隣の中核都市などへ行くのに比較的便利な位置にある中で、高規格道路や府道・町道の整備を進めるとともに、誰もが安心して外出できる手段として、住民・事業者・行政の協働による地域交通の確保を図り、「行きたいときに行きたいところへ」行けるまちづくりを進めていくこととしています。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路政策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式④

京都府 与謝野町

○重点事項 地域活力の向上	○代表事例 京都縦貫自動車道の早期の全線開通と鳥取豊岡宮津自動車道の全線事業化。	○期待する効果や評価等 京都府北部地域は、日本海側に位置し、日本三景のひとつである天橋立をはじめ琴引浜や大江山など豊かな自然環境に恵まれ、観光分野での期待が高まっているが、高速道路網の整備が立ち遅れており、生かしきれていないのが実状である。 また、鳥取東部・但馬地域においても優れた観光資源を有しており、環日本海交流の重要性が自明である今日、観光資源の連携・交流を促進する道路の整備は大変重要である。 また、災害時における相互支援、高次医療施設へのアクセス道路としての整備は豊かな生活を実現するためには必須の社会基盤である。	○その他